

定期テスト2 範囲表(第1学年) 改訂版

◎実施日：9月9日(木)， 9月10日(金)

○9月9日(木)

1校時：自美 2校時：音体 3校時：英語 4校時：国語 5校時：社会

教科	テスト範囲	学習のポイント
美術	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書P60 鉛筆で描く 教科書P70～P72 色彩の基本・仕組み ○資料集P3～P5, P36～P37, P80～P81 P136～P137 ○美術の学習P4～P5, P12～P13, P26 	<ul style="list-style-type: none"> ○スケッチの授業で学習したことや「色彩の基本・仕組み」をしっかりと理解しておくこと。 ○鑑賞分野では、ゴッホについて出題します。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ①信夫中学校伝統曲について 「校歌」「応援歌」「生徒会歌」 ②「魔王」について ③楽器「箏」について ④箏曲「さくらさくら」 ⑤箏曲「六段の調べ」 	<ul style="list-style-type: none"> ①配付楽譜を見ておく。特に「校歌」は、鍵盤と音符、歌詞など具体的に出題します。 ②教科書P48～51, 学習帳P63, プリントから出題します。 ③④学習帳P18, 器楽教科書P41～43, プリントから出題します。 ⑤教科書P56～57, 学習帳P68から出題します。
保体	<ul style="list-style-type: none"> ○保健分野 教科書P.6～P.15 ○体育分野 陸上競技 水泳 バレーボール 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習ノートP.2～P.13 ○学習ノートP.56～P.59 ○学習ノートP.60～P.63 ○学習ノートP.76～P.79
英語	<ul style="list-style-type: none"> ○Unit 2 part 2(p.22) ～Grammar for Communication ③疑問詞(p.45) *疑問詞を用いた問題は出題するが、教科書p.45の「Let's Try」は範囲からはずす *聞き取りテストを含む *English Timeも同じ範囲 (p.14～p.35) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 疑問詞が多く出てくるので、習った範囲の英問英答ができるようにしておくこと。 ○ 書いて答えるテストなので、単語や文が書けるように繰り返し練習したり、ワークブックや単元テストの問題をやり直したりして学習するとよい。
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書46～79p, 238～241p ・ちょっと立ち止まって ・意見と根拠 ・漢字に親しもう2 ・言葉の単位 ・情報社会を生きる ・詩の世界 ・比喻で広がる言葉の世界 ・指示する語句と接続する語句 	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字に関しても、教科書と同じ範囲から出題します。 ○ワークも、教科書と同じ範囲の部分必ずやっておいてください。(2回以上) ○漢字・文法ははやった分だけ点数が稼げます。よく練習をしておいてください。 ○単元プリントも解き直しをしてください。 ○1回目よりも、記述式問題が多くなります。よく復習しておいてください。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○地理 教科書P.2～P.25 ○歴史 教科書P.26～P.43 ○時事問題 2～3問程度 (スポーツ, 芸能は除く) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ <u>ワークブックの問題を繰り返し丁寧にやる。</u> ○ 太字を中心に、重要な語句の意味を理解する。 ○ 教科書の <u>図や資料をよく見しておく。</u> (特に両面図を読み取れるようにすること) ○ 定期テスト1の問題を解き直す。 ○ ニュースを見たり、新聞を読んだりする。

教科	テスト範囲	学習のポイント
数学	○復習問題(定期テスト1から出題) ○教科書 P.50～P.97 ○数友 P.15～P.36 ○積み上げプリント③～⑤ ※「数友」を前日の朝までに提出した人にボーナス点あり	○範囲の太字用語の意味を説明できるようにする。 ○ノートを見直して「考え方」「計算のきまり」「文字式の表現方法」等を説明できるようにする。 ○教科書、数友、プリントの問題をノートに書き直す。間違えた問題はすらすらできるまでやる。 ○P69, 70, 83, 84, 85の内容は特に完璧に復習しよう。
技術	○部活動紹介 ○コンピュータでグラフを作成しよう	・コンピュータの基本操作を確認する。 ・授業中配付したプリントをよく学習する。特に、Word, Excelについて確認する。 ・コンピュータ室の起動・終了・保存方法にて確認する。 ※詳しくは授業で説明します。
家庭	【衣生活】 ○教科書 P.162～183 ○学習帳 P.2～9 ○基礎縫い(なみ縫い・まつり縫い・スナップつけ・糸の使い方)	・教科書と学習帳は、授業で学習したところを復習する。 ・基礎縫いは「基礎縫い練習拡大シート」も使って復習する。
理科	○教科書 p45～97 3章 動物の分類 1章 身のまわりの物質とその性質 2章 気体の性質 (第1節まで) ○ワーク p18～37 ○積み上げプリント④～⑦ (⑦は第1節の内容のみ)	・密度の計算練習をしておく。 ・気体の発生方法と性質、捕集方法を覚える。 (アンモニアを除く) ・各動物の特徴を覚える。 ・ワークだけでなく、教科書やプリントやノートも必ず見直す。 ・ガスバーナーなどの実験の基礎操作を確実に。

◎ 1教科25分のテストについて

- (1) 「自美」は、前半25分間は自習をし、後半25分で美術のテストを行う。
- (2) 「音体」、「技家」は、次の手順で行う。
 - ① テスト開始前に、2教科分の問題と解答用紙が配付されるが、後半に実施するテスト(保体、家庭)は机の中にしまう。早く終わっても、後半のテストを解くことはしない。
 - ② 25分たった後後半のテストに取り組む。その間に、テスト監督の先生が前半に実施したテスト(音楽、技術)の解答用紙を回収するので、机の上に置いておく。ただし、前半のテストを解くことはしない。

